

低加工硬化性オーステナイトステンレス鋼 「リバーライト304S」^{*1}

野村 寛^{*2} 岡 裕^{*3} 垣内 博之^{*4}

Austenitic Stainless Steel with Low Work Hardening “RIVER LITE 304 S”

Hiroshi Nomura Yutaka Oka Hiroyuki Kaito

1 はじめに

18Cr-8Ni オーステナイト系ステンレス鋼は、その表面の美麗

自体の軟質化の両方を達成することが必要である。本開発鋼は従来の SUS 304 鋼に 0.3~1.0% の Cu を添加したものである。Table 1 に開発鋼の成分例を示す。なお表中の Md₃₀ はオーステナイトの軟

さに加え、優れた耐食性、溶接性を有しているため、種々の用途に幅

完度を示す指標であり、低い方が成形時の加工硬化が小さくなる。

広く使用され、近年その生産量は著しく増大している。用途の拡大

本開発鋼は Cu 添加の効果で Md₃₀ が従来鋼に比べ低い値となるよ

550 ○ : 9.0% Ni As cold rolled

80 DR = 2.15 ○ : drawn through

